

令和元年9月議会(一般質問)

午前中5時間授業について

Q 〈平畑〉午前中5時間授業とはどういうものか説明を求めます。

A 〈星子教育長〉午前中5時間授業とは、給食前に、1コマ45分の授業を5コマ行うことです。

1日6コマ授業を行う場合は、給食前に5コマ、給食後に1コマ授業を行います。また、1日5コマ授業を行う場合は、給食後に授業を行わず、昼休み、帰りの会等を行い下校することです。

Q 〈平畑〉政令市での実施状況並びに福岡市での実施状況をお尋ねします。

A 〈教育長〉令和元年度午前中5時間授業実施校は、福岡市以外の政令市19都市中3都市で実施。神戸市1校、新潟市1校、熊本市2校です。

福岡市では144校中、毎日実施は57校、特定日に実施19校、行事に伴って実施12校です。

Q 〈平畑〉3政令市でわずか4校しか実施していないのに、福岡市では144校中88校、61%が午前中5時間授業を導入しているとのこと。今年の3月議会で自民党の川上陽平議員から5分間休みがないこと、トイレにも行けない、行けても自由に授業を抜けていくこと、トイレと言えない子どもがいること、給食が13時になることなどから、拙速に進めるべきではないと厳しく指摘されていたが、今年度は10校で新たに導入しています。

確認しますが、5分間の休みはきちんと取っているのか、中休みはあるのか、つまり授業の途中で自由にトイレに行かせているということはないのか？

A 〈教育長〉平成31年3月20日に、各学校へ午前中5時間授業実施に係る調査を実施し、午前中5時間授業

を実施予定の88校全てで、授業と授業の間に休み時間やトイレ休憩の時間をとることを把握しています。

Q 〈平畑〉午前中5時間授業のメリット・デメリットについてどのように考えているのですか？

A 〈教育長〉メリットは、児童や保護者からの声では、放課後の補充学習や遊ぶ時間が増えたこと。また、余裕をもって習い事に行けるようになったこと。教員の研修や教材研究の時間が確保でき、授業の充実が図れることや、勤務時間内に会議・研修の時間が十分確保できること。

デメリットは、下校後の児童の安全な過ごし方についての指導が従前より必要になったことです。

Q 〈平畑〉余裕を持って習い事に行けることがメリットとして挙げられました。子ども達にとっては下校時間が平均20分早くなったので、遊ぶ時間など余裕が少しできたと思いますが、それが子ども達にとってのメリットなら、午前中5時間授業というのは誰のため、何のためかと思えます。

学校の授業が今までより早く終わった放課後、子どもは何をすれば良いと考えているのですか。

A 〈教育長〉下校時刻が午前中4時間授業の場合より、平均で20分程度早くなることから、放課後の時間を、授業でわからなかったところや苦手な学習を教員に個別に教えてもらったりする補充学習など、学力向上のために使う。余裕をもって、自分の好きなことや興味・関心があることのために使う。友だちとの関係や体験的な活動の広がりなどのために使います。

Q 〈平畑〉教員からのメリットは、勤務時間内に職員会議や研修ができるからとの事でした。働き方改革と連動しているのでしょうか。教員の負担軽減も考えなければならないと理解はしていますが、研修については夏休み・冬休みの期間に集中してやれないのかと思うし、登校時間が早くなったり、給食が13時になったりし

2019

7/23~25

教育子ども委員会他都市行政視察



さいたま市子ども家庭総合センター・武蔵野市子ども育成課 fujimuraナーサリー(企業主導型保育事業)、仙台市天文台・仙台市荒浜小学校跡地(震災遺構)を視察。



2019

7/28

早良消防団
小型ポンプ
操法大会



2019

8/18

福岡市消防団
小型ポンプ
操法大会



火災防衛活動の基本である小型ポンプの操作技術の向上と消防団の士気高揚を目的としています。